「能代七夕」活動開始

６年生が、能代七夕をテーマにした総合的な学習の時間をスタートさせました。１５日（火）には、天空の不夜城協議会事務局に講師を依頼し、１００年の時空を超えて、復活した「嘉六と愛季」の歴史について、教えていただきました。

７月には、能代七夕集会や田楽作りもあります。また、休み時間には、七夕の笛の音色が校内に響くなど、はやしによって雰囲気も盛り上がっています。今後の活動にも、各家庭のご理解・ご協力をお願いいたします。

パンフレットもいただき、漫画でも勉強しています。

プール開き 7月1日

１８日（金）６年生がプール開きに向けて、清掃を頑張りました。

１年間使わなかったプールは、苔や汚泥がこびり付いており、お世辞にもきれいとは言えない状態でしたが、文句も言わずに黙々とたわしやブラシでゴシゴシこすっていました。苦しい仕事から逃げない姿や人のために尽くす姿にすばらしさを感じました。プール清掃は６年生の伝統行事。プールをきれいにして、下学年に安全に使ってもらう仕事を、歴代の先輩たちも行ってきました。

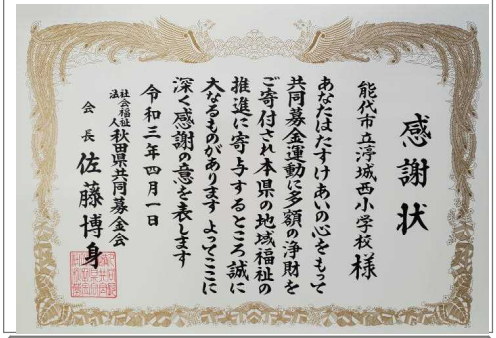
こうした思いが今後も繋がっていくことを期待しています。

5年 農作業体験

５年生の「西小農園」における野菜作りは、すべて順調です。豊作を期待して、丁寧に作業をしています。

感謝状届きました

ＪＲＣ委員会を中心に、全校で取り組んでいる募金活動に感謝状が届いています。今後も苦しんでいる、一人でも多くの人を、救いたいという思いを具現化していきます。皆さんのご理解ご協力をお願いします。


感謝状

能代市立浮城西小学校 様

あなたはたすけあいの心をもって共同募金運動に多額の浮財をご寄付され本県の地域福祉の推進に寄与するところ誠に大なるものがあります よってここに深く感謝の意を表します

令和三年四月一日

社会福祉法人 秋田県共同募金会
会長 佐藤博身

校長室だより

攻めダルマの教育

徳島池田高校野球部の蔦監督が好きで、著書を読み、講演会も何度か拝聴した。陽に焼けた温顔、上品な白髪、徳島弁で、ひょうひょうとしたさわやかな弁舌など、全てが印象深く、鮮明に記憶に残っている。「ワシは負けることを少しも恥ずかしいとは思わん。ホンマに恥ずかしいんは、負けたことで人間がダメになっていくことぞ。」と語り、負けても負けても挑戦し続けた甲子園の名物監督の軌跡は、今も野球指導のバイブルである。

攻めダルマのニックネームが蔦野球の全てを物語る。筋トレをベースにした「やまびこ打線」は、以後の高校野球のスタイルを変えた。単に「野球を教える」のではなく「人間育成の手段」として、野球を教える指導法にも感銘した。山間の子どもたちを大海へ導くため、全精力を注ぎ続けた愚直なまでの甲子園挑戦史を学び、何より自分の胸には、「燃えるような熱い情熱」はあるのか、自問自答させられた。

組織は人で成り立つ。人が燃えなければ組織も燃えない。リーダーが熱い情熱をもち、その熱意を組織に行き渡らせることではじめて、目標に達することを教えられた。

開校記念日

6月30日（水）は、創立15年目を迎えた淳西小の誕生日。学校は、お休みです。各自でお祝いをして下さい。命や健康に関わる緊急連絡のみ教頭（[redacted]）へ。